

北九州港港湾計画改訂（案）について

1 港湾計画改訂の経緯及び経過

- ・現在の港湾計画は、平成24年1月に改訂したものであり、改訂から10年以上が経過しており、その後の港湾を取り巻く社会情勢等の変化に対応するため、新たに港湾計画の改訂を行うこととした。
- ・令和3年11月には、学識経験者や港湾利用者等で構成する「北九州港長期構想検討委員会」を設置し、港湾計画の指針となる20～30年先を目標とする長期構想の検討を進めてきた。
- ・令和4年12月に、「北九州港長期構想」を策定し、令和5年3月に議会の報告を行ったところである。

2 港湾計画改訂（案）

- ・この長期構想に掲げられた施策のうち、物流拠点や風力発電関連産業の総合拠点の形成など、重要性、緊急性、早期実現性等の観点から、今後、概ね10～15年の間に実現を目指すものについて、「北九州港港湾計画改訂（案）」を取りまとめたところである。

3 今回位置付けを予定している主な施設

- ・新門司南地区 RORO 船対応岸壁
- ・太刀浦地区 海面処分場
- ・響灘東地区 洋上風力発電関連岸壁
- ・響灘東地区 バルク船対応岸壁

4 今後のスケジュール

- ・令和5年10月4日 北九州市地方港湾審議会 諮問
- ・ // 10月下旬 交通政策審議会 港湾分科会 諮問
- ・ // 12月下旬 北九州港港湾計画改訂 公告

計画変更の概要（東部）



計画変更の概要（西部）

